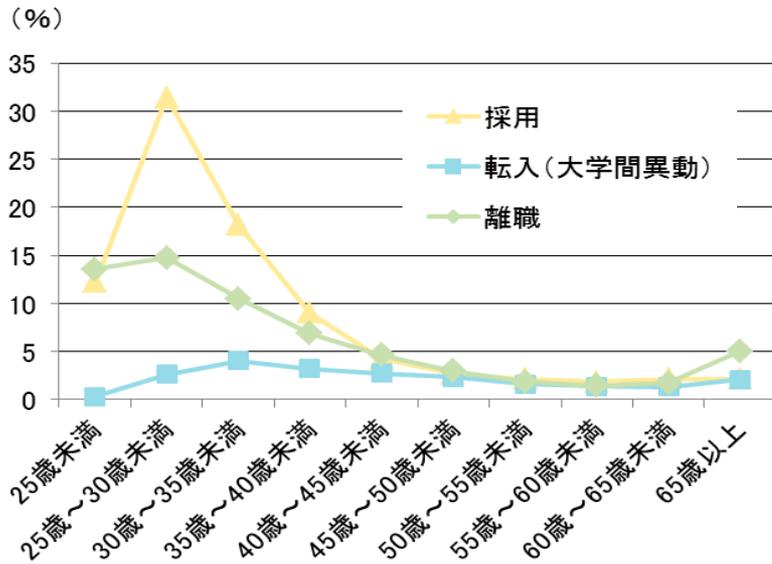


- 大学本務教員の異動者数の割合については、25～30歳未満をピークに年齢が上がるにつれて減少。若手教員の流動性は高いが、シニア教員の流動性は低い。
- 大学、独立行政法人等において、若手の任期付き割合が多い。

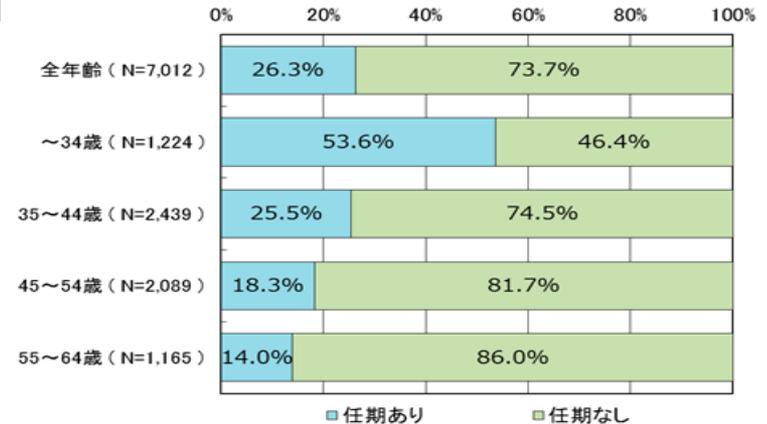
### 大学本務教員の異動状況



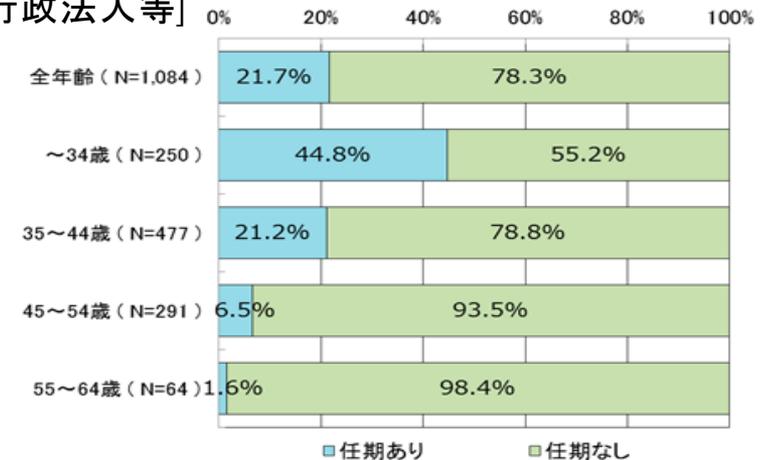
出典：「学校教員統計調査」（平成22年度）を基に文部科学省作成

### 年齢層別任期制適用割合

[大学]

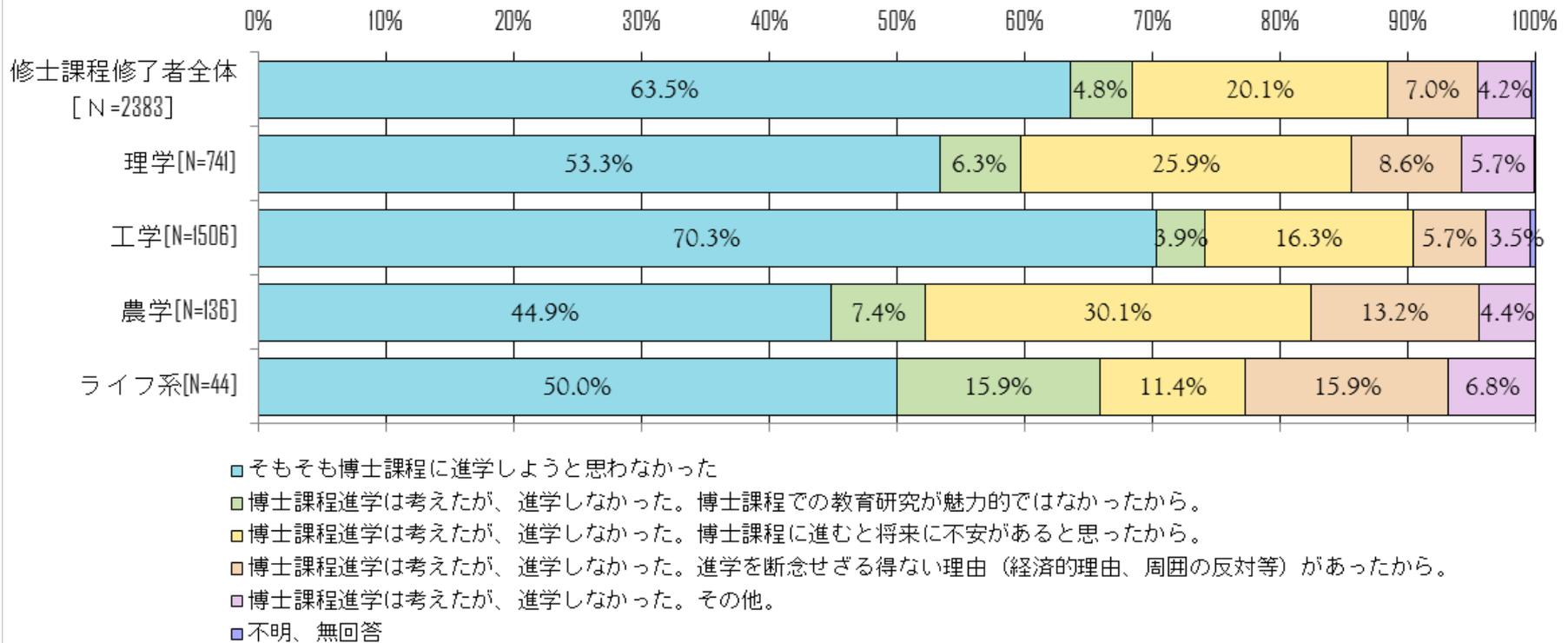


[独立行政法人等]



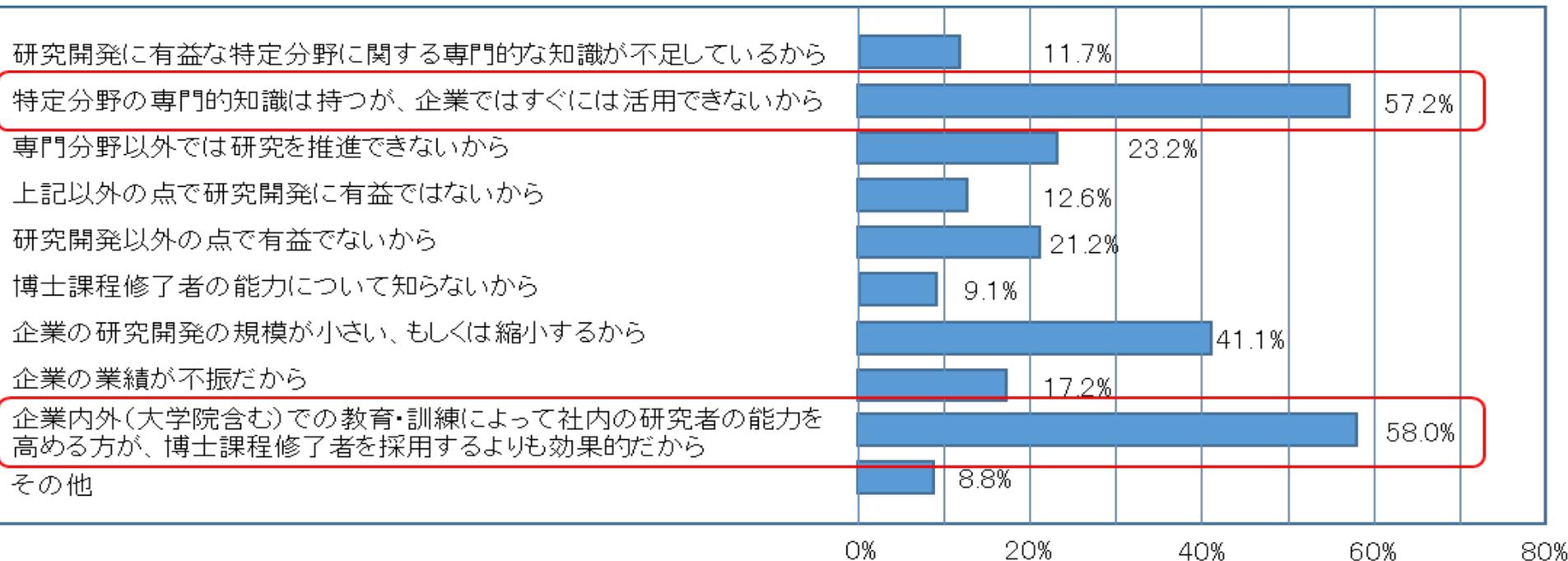
出典：科学技術政策研究所「科学技術人材に関する調査」（平成21年3月）を基に文部科学省作成

○ 博士課程へ進学しなかった理由について、「将来への不安」を挙げる者が多い。



※ 修士課程修了者全体の数値にライフ系は含めていない。

- 民間企業が博士課程修了者を採用しない理由としては、「企業内外での教育・訓練によって社会の研究者の能力を高める方が効果的だから」「特定分野の専門的知識を持つが、企業ではすぐには活用できないから」という回答が多い。



出典：科学技術・学術政策研究所「民間企業の研究活動に関する調査報告2012」(平成25年9月)を基に、文部科学省作成